2023/12/15（金）

朝の礼拝

聖書　ルカによる福音書 2章 6-7節（新約聖書102頁）

ところが、彼らがベツレヘムにいるうちに、マリアは月が満ちて、初めての子を産み、布にくるんで飼い葉桶に寝かせた。宿屋には彼らの泊まる場所がなかったからである。

クリブ

皆さんはクリスマスの情景を再現する人形たちをご存じですか。英語で「クリブ（crib)」と言います。中世の頃、イタリアのアシジのフランシスという修道士が、救い主キリストが厩（うまや)、家畜小屋で、最も貧しい者として生まれたことを覚えて、1223年のクリスマスに献げたのが始まりだと言われています。

粗末な馬小屋の中央に、飼い葉桶に寝かされた赤ちゃんのイエス、それを見守るようにマリアとヨセフ、その三人を抱くように大きな天使ガブリエルが後方の少し高いところに、そして周りには羊飼いと羊たち、三人の占星術の学者たちと三つの贈り物、ロバや駱駝（らくだ）もいます。

まだ学校に行けず読み書きが出来ない人が大勢いた時代、教会ではラテン語だけしか使われず、誰も聖書が読めず、聞いてもわかりませんでした。クリスマスの話は心で想像するだけでした。当時フランシスは戦争で心が傷つき、お金儲けばかりを考えている父親の商いにも失望し、家出をしたのでした。

彼は崩れ朽ちた教会で雨風をしのぎ、一つずつレンガを積み、ひとりで祈りを始めました。あの有名な「平和の祈り」もそこから生まれました。そして聖書が読めなくても、意味がわからなくても、救い主が必ず来られることを、誰もが信じられるようにとクリブを献げ、平和の祈りを献げたのでした。

（しばらく黙祷しましょう）

慈しみ深い主よ、いよいよ学校クリスマスが近づきました。昔ひとりの修道士がクリスマスにクリブを献げ、平和の祈りを唱えたように、明日は英和女学院が聖書のみ言葉、祈り、讃美をあなたに献げ、世界の平和を祈ります。どうかあなたが最も小さくされた人びと共におられたように、私たちも心を砕いて祈り、望みを抱き、互いに愛し合い、平和の道を歩ませてください。どうか今日の準備、リハーサルも共におられ守り導いてください。今日一日もすべてをあなたに委ね、喜びと感謝のうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン